

ぼれぼれ

通信



強きを
弱きを助ける!
挫き(くじ)

1・2月号
vol.32

昨年12月9日に「休眠預金活用法」が公布された。休眠預金とは、10年以上出入金の動きがない口座で、所有者が所在不明の預金のことである。現在は、金融機関の私的利息となっている。直近10年間の動向を見ると、毎年約

500億円が金融機関の私的利息となっているのだ。

そこで、山本は、その莫大な休眠預金を金融機関の私的利息とするのではなく、何とか世のため人のために活用することは出来ないものかと、この4年間、ずっと



議員立法 「休眠預金活用法案」 成立!

法制化に向けて活動してきた。法案の立案から始まり、より多くの賛同者を募るべく超党派の議員連盟を創設したり、党内手続きに東奔西走したり、国会に法案を提案する際には筆頭提案者になり、国会の審議においては他の提案者たちと一緒に答弁に立つなど、この議員立法を牽引してきた。従つて衆議院本会議場で本法案が可決される際には、周囲から「いよいよ山本法案が成立するね」と冷やかされたほどであった。実は、休眠預金が話題になったのは、今に始まったことではない。自民党が下野をしていた頃、民主党政権下で休眠預金活用の動きがあり、その旨を閣議決定まで

行っていた。だが、その閣議決定がなされてから直ぐに解散総選挙に突入し、法案など具体的なものは何ひとつ無かった。そこで、山本はゼロから研究を始めたのであるが、休眠預金を活用するということは、つまり「ひと様のお金をお金をひと様に渡す」という今までの価値観を覆す、相当画期的な、ある意味乱暴なことを行つわけで、最初の立案から困難を極めた。

問題点を 解決するために

先ず、与党の自公と活用の閣議決定を実施した民主党（当時）の三党で、この問題に明るい、或いは興味を持っている議員が集まり、議員連盟を創設して議論を深めて行こうと思ひ、2013年

（平成25年）の4月に集まつてもらつた。しかし、あまりにも価値観、哲学、常識がかけ離れており、暗礁に乗り上げた。相違点は、大きく二つあった。一つは、活用分野である。我々自公は社会的弱者に使おうと考えていたが、民主党政はそれに加えて、成長マネーにも活用したいとの意向があつた。二つ目は、民主党は、この問題に政府を関与させず、民間事業として休眠預金を活用・使用したいとの強い意向があつた。彼らの言を借りれば、「活用希望者・

団体がネット上でその旨を提示し、それらを見た人たちが、いいね、ボタンを押す。その数が多いから1年半、議員間の勉強会を23回、省庁との協議を41回など会合数118回、総83時間を持って、休眠預金活用法案の基本計画を練り上げ、2015年（平成27年）4月25日に超党派による「休眠預金活用推進議

と様に渡す」というような大それたことを民間で行つと云うのは、山本の感覚では全く理解できなかつた。あまりにも溝が深すぎたので、三党の関係者で議論することを一旦中断し、我が党の限られたメンバーで、法的に何が可能で何が不可能なのか、研究してから他党の議員に話を持つて、方針転換した。

法案の成立！そして 理想とする未来は…

それから1年半、議員間の勉強会を23回、省庁との協議を41回など会合数118回、総83時間を掛けて、休眠預金活用法案の基本計画を練り上げ、2015年（平成27年）4月25日に超党派による「休眠預金活用推進議

員連盟」（以下、議連）を創設することじが出来た。議連では各種団体や有識者からのヒヤリングなど活発な議論が行われたが、「教育分野に使うべきだ」、「いやいや福祉に特化すべきだ」などなど議論百出で、このままでは、まとまるものもまとまらないと判断した山本は、議連に参加している各党から実務者を選出し、実務者協議において細部を詰めていくことを提案した。その後、実務者協議に議論の場を移して、法案の基本計画を元に議連としての法案を作成した。最終的に活用分野を①若者支援②生活困窮者対策③地域活性化とし、預金の性質上、幅広く国民に還元できるようとした。

国が休眠預金を召し上げるとの共助や自助の分野で、もう少し誤解があるが、国は予算をしつかり組んでおり、国として休眠預金を求める必要はない。むしろ公的な資金を充てるにはそぐわない、しかし、助けを求めているような分野…つまり、公助・共助・自助の中で、公助は既に公的資金や政策的に手当てがなされており休眠預金を活用する必要はなく、



▲「休眠預金活用法」御署名原本

人の手を貸してもうれば、更に改善できるのに、じつはような分野に休眠預金を活用すべきだと山本は考えたのだ。山本が日頃考えていた「総じて政道の極意と申すは、弱きを助けその強きを挫き、今日前の利を得ずとも」を体現したと言えよう。

あくまでも「預金は預金者のもの」である。もし預金者が預金を引き出したと申し出てきた場合は、いつもも利息を付けて払い戻すことになつており、またこのような休眠預金活用プロジェクトが始まることで預金者には、自らの預金をしつかりと管理してもう一件事情を啓蒙する」とも意図している。本来、世の中から休眠預金がなくなることが理想なのだ。



ペンペン特別秘書官が質問にお答え！

Q

「金帰火来」^{きんき からい}という言葉を聞きました。国會議員は金曜に地元の家に帰り、火曜に国会のある東京に来る、ということは結構お休みが多いのですか？

A

面白い言葉だな。国會議員と一口に言つても北は北海道から南は沖縄まで全国から出勤してくるので、確かに地方選出の議員は「金帰火来」になるな。しかし、東京への通勤圏にいる山本は毎晩地元に帰つて、翌朝には本紙を配布する駅頭活動をしてから、出勤してゐる。だから「金帰火来」にならぬ。そもそも山

本は東京に議員宿舎も借りてないぜ。どの議員も基本的に土日は地元のイベントなどに出席してしるから年中無休だな。山本のfacebookやtwitterを見てやつてくれよ、毎日仕事をしているよ。山本人は「仕事があるのは幸せだ」と言つてるよ。俺は、週休二日だ！休みがないとやつてりれないぜ。

俺のことが気になったら
「山本ともひろ ペンペン」
で検索してくれ！



ペンペンへの質問は
penpen.polepole@gmail.com
にて受け付けております！



駅頭活動報告



駅で「ぼれぼれ通信」を お配りしております 駅頭活動報告

前号で映画「シン・ゴジラ」を
取り上げたところ「面白かったよ！」と
声を掛けて頂きました。
映画の話から日本の国防政策の話へ。
日頃、国防問題は忘れられる事が多いので、
良い機会になりました。

朝の6:30～8:30までの2時間にわたり、4区内の
下表の駅で活動をさせていただいております。

※雨の日は鞄と傘をお持ちの皆様が多いので、駅頭活動を控えています。



前回の「ぼれぼれ通信」配布数

駅名	11月	枚数	12月	枚数	前月比
逗子駅	4日(金)	433	16日(金)	458	↗
新逗子駅	21日(月)	349	12日(月)	363	↗
鎌倉駅(東口)	2日(水)	340	2日(金)	446	↑
鎌倉駅(西口)	7日(月)	448	5日(月)	451	↗
大船駅(西口)	8日(火)	490	6日(火)	613	↑
大船駅(モノレール口)	9日(水)	435	7日(水)	205	↓
大船駅(東口)	10日(木)	436	8日(木)	198	↓
大船駅(笠間口)	15日(火)	591	19日(月)	409	↓
本郷台駅	14日(月)	432	13日(火)	441	↗
港南台駅	18日(金)	200	9日(金)	201	↗
11月配布合計	4,154		12月配布合計	3,785	↓

11月・12月集計分

ちょっとした時間に見ていただけるような情報を皆様にお届けしております。
見かけた際はぜひお手に取っていただければ幸いです。

アドレスは「ぼれぼれ」

twitter, Facebookも本人がやっています
皆様からのご質問やご意見、お待ちしております。



twitter
@ty_polepole



facebook.

facebook.com/ty.polepole

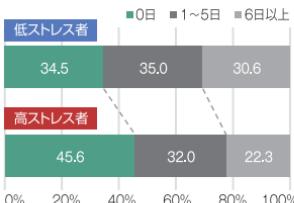
ストレスオフな街づくりを目指して

「休日の過ごし方」に見るストレスオフ

山本の呼びかけで始まった産医政で構成されるストレスチェックの私的勉強会。ここではその活動について報告していく。

ストレスと休暇について

①有休取得日数の比較



②有休の過ごし方TOP5

低ストレス者

- 1位 とにかくゆっくりする
- 2位 買い物など外出
- 3位 友人と外出
- 4位 友人と旅行
- 5位 趣味

高ストレス者

- 1位 とにかくゆっくりする
- 2位 寝て終わる
- 3位 家事
- 4位 掃除
- 5位 買い物など外出

※メディプラス研究所調べ。ストレス指数チェックのデータを分析したもの。

勉強会の活動の中で、新たに有職者女性を対象とした調査結果が届いた（上記）。ストレスの高低で有休取得率に差があることは予測できたが、その過ごし方に焦点を当てると興味深い結果に。高ストレス者は「寝て終わる」「家事」「掃除」などが上位に挙がり、交流や楽しみに時間を割くことが少ないようだ。休日の過ごし方でストレス状態が異なる傾向があり、この点への考察は女性活躍支援の一端にもなり得るのではないかと考えている。

勉強会の活動の中で、新たに有職者女性を対象とした調査結果が届いた（上記）。ストレスの高低で有休取得率に差があることは予測できたが、その過ごし方に焦点を当てると興味深い結果に。高ストレス者は「寝て終わる」「家事」「掃除」などが上位に挙がり、交流や楽しみに時間を割くことが少ないようだ。休日の過ごし方でストレス状態が異なる傾向があり、この点への考察は女性活躍支援の一端にもなり得るのではないかと考えている。

分かりやすいと大人気! 山本ともひろ国会見学ツアー



国会を山本ともひろと一緒に見学してみませんか？

「政治が身近に感じられた」「分かりやすく、楽しかった!」と大人気の見学ツアーは無料で行っています。詳細は下記の事務所まで、お気軽にお電話ください。



山本ともひろ事務所リスト

本部事務所

神奈川県鎌倉市大船1-6-6 大久保ビル3F

TEL:0467-39-6933 FAX:0467-39-6943

国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 第2議員会館 1110号室

TEL:03-3508-7193 FAX:03-3508-3623

いったいどんな人なの? 山本ともひろ 解体新書

自由民主党
衆議院議員(3期 8年)

神奈川4区(栄区・鎌倉市・逗子市・葉山町)
昭和50年(1975年)生まれ
41歳 鎌倉在住

PICK UP!

頭・胃

乾杯の際、山本が氷水を持っていて「水杯の乾杯は縁起が良くないのでは?」と言われ、「え? 今時そんなことを言う人がいるなんて!」と逆に驚愕。実は、食べ順を考え、最初に食べるものは野菜と決めており、乾杯のビールも出来るだけ氷水にしているとのこと。野菜から食べ始めると急激な血糖値の上昇を抑制でき、脂質の吸収を抑えることが出来るそうだ。「なぜウーロン茶にしないの?」と聞かれ「氷水なら無料だから」と即答した山本。一円を笑うものは一円に泣く、僕約家の真骨頂だ。



経歴

- 関西大学 商学部 卒業
- 京都大学 大学院 修士課程(法学) 修了
- (財)松下政経塾 卒塾(21期)
- 米国ジョージタウン大学 客員研究員、その後、会社員を経て
- 平成17年 衆院選 初当選
- 平成24年 衆院選 2期目の当選
- 平成26年 文部科学大臣政務官・復興大臣政務官 就任
- 平成26年 衆院選 3期目の当選
- 平成27年 オリンピック・パラリンピック大臣政務官 就任



ぽれぽれ通信って何?

「ぽれぽれ」は、ケニアの公用語のスワヒリ語で「ゆっくり、ゆっくり」という意。私は、ケニア・タンザニア米国大使館同時爆破テロの現場(ケニア)に居合わせたのがきっかけで政治家を志しました。

一度に全てを変えることは無理でも、諦めず、ゆっくりでも少しずつでも政治を変えていきたい。そうしなければこの国は良くならない…。そしてその活動を皆様にお伝えしていきたいという想いを込めて、この冊子を作っています。

平成29年(2017年) 1月6日発行 第32号

【編集・発行】山本ともひろ後援会ぽれぽれ通信制作委員会 鎌倉市大船1-6-6 3F TEL 0467-39-6933 FAX 0467-39-6943
※本誌は、隔月(1、3、5、7、9、11月)発行の機関誌です。バックナンバーについては上記事務所までご連絡ください。またHPにも掲載しておりますのでご覧ください。